

## 景況実感調査(10月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 販売単価は多少上がってきているが、メーカー値上げにはとても追いつかず、収益状況を悪化させている。現状、足元の在庫が少なく、歯抜けではなく、タイト感が出ているのが実情である。各社、メーカーのup待ちにつき、2～3か月後の在庫過多が懸念される。今のうちにメーカー値上げ分を浸透させたい。
- ② 業種、品種によって荷動きにバラツキが見られるものの、着実に回復軌道にある。在庫も減少しているが、手当に不自由感はない。このような状況下で流通は価格転嫁に注力するも、だいぶ遅れており、何か切っ掛けが欲しいところである。
- ③ 稼働日数が前月比で3日多い分、売り上げも多かったが、好転まではいかない。
- ④ 対前月で稼働日が2日増となり、売上、数量ともに増加した。引合い、見積りも増加傾向にあるが、建築関連は施工能力に限界があり、繁忙感の割に売り上げは伸長出来ていないようだ。在庫も新価格にほぼリプレースされ、価格上昇を余儀なくされている。メーカーCGLは余裕がなく、一部品種(亜鉛鉄板等)は輸入品を含め市況立て直しが難しいが、11月中には環境も変化しそうである。下期の業績改善に向け注力したい。

### 中板

- ① 市中在庫減少も市況に影響なく、販売単価は横這い。相変わらず値上げ交渉の足並みが揃っておらず、メーカー値上げ分の価格転嫁が進んでいない。

### 厚板

- ① 建材分野においてFABは、来年の仕事量をほぼ確保した模様。ゼネコンもFAB探しに苦慮している状況である。供給面では、ミルは12月までフル生産が続く見通しとなり、1～3月の枠確保に向けて各社が要請している状況である。11月～12月には、ミルの定修も控えており、ますます供給面ではタイトになると思われる。末端の需要も増えつつあり、市況も確実に上昇していくものと思われる。

### —舟安开形鋼

- ① 工事現場の職人不足により着工が遅延していて、出荷量が伸びない。
- ② 7月から回復した売上高は、月の営業日数により上下はあるものの持続している。巡航速度の下振れの可能性は、当面見当たらないが、上振れの可能性は大きに期待している。

### II开形鋼

- ① 台風の関係でメーカーからの出荷が大幅に遅れていることもあり、サイズによっては歯抜けもあり、品薄感が出ている。今後、メーカーの更なる値上げも想定されるため、積み残している価格転嫁が急がれる。
- ② 需要増は感じられる。また、市況も上向きである。ただ、市況は後追いの状況であり、メーカーの落ち着いた対応が必要である。

## 異形棒鋼

- ① 10月の倉出しは、昨年と同様に動きが良い。メーカーがしっかりと価格を上げてきている。11月初めから販売価格を上げていく。
- ② 倉出し需要が増加傾向にあり、加工も多忙となってきた。メーカーの販売姿勢は更に厳しくなって落ち、流通は採算確保のため、市況の押し上げが急務となってきた。

## 平鋼

- ① メーカーの連続値上げにより、引き続き価格転嫁に動いている。建築を中心とした需要は良化しつつあり、値上げも後押しし、荷動きは改善しつつある。しかし、メーカーの値上げに対して市中相場の動きは鈍く、採算面は好転していない。市中では品薄感を出始めており、引き続き価格面での改善が急務。

## 鋼管

- ① 売上は前年同月より1割良くなった。繁忙感も出てきた。来年は少し良くなるという気がする。
- ② 土木関連分野の一次加工は好調。市況も今後、強含み展開になる見込みである。

## 構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品及びトラック関連は堅調な動きが続いている。建設機械関連については、大型機種は低調や排ガス規制に伴う駆け込みの反動により減少しており、1～3月は大幅減が予想される。店売りについては、店売り比率の高い建設機械の減少もあり、低位横這いが続いている。市況については、メーカー値上げに伴い10月より価格転嫁を進めており、市況は上伸している。

## 軽天材

- ① 前月と対比すれば、不需要期を脱し好調に転じたようにも思える。しかしながら昨年比では、いまだ低調な数字であり、忙しいばかりで成果が薄いのが現状。業界として、就労人口の減少がそのまま市場規模の縮小に直結しているようだ。

## 鋼材全般

- ② 上げ市況。メーカー値上げ分を遅れながら転嫁中。

## その他

### <曲げ加工>

- ① 今月は本年最高の加工売上を実現した。そのうち外注加工もかなり増え、金額も脹れ上がった。本年は前半が悪く、多少加工売上が上がったといっても平均すれば昨年同様で、喜ぶべき状況ではない。少し仕事が動き始めたかの感はあるが、確信は持てない。

### <金属表面処理加工>

- ① 10月は物件物、紐付き材ともに計画通りとなる。スポットも中旬以降にまとまった物量が多く、高操業で推移した。短納期のスポット案件が多く、年内は同様の操業となりそうで、来年以降の引合いも活発なことから、プラント関係を中心に物件の動きを感じる。